

「核のゴミいらない！全国フォーラム」（仮称）の開催について

1、集会日程

- ①日時 2024年11月30日（土）
- ②場所 青森市民ホール リンクモア平安閣市民ホール
- ※ 会場使用時間は9時～17時まで借用

2、名称

- ・「核ゴミいらない！全国フォーラム」でいいのか？
- ・青森からの伝言・・・核のゴミはいらない・・・
- ・その他
- ・「核のゴミいらない！全国フォーラム」の名称で進める。
- ・サブタイトルについては事務局会議 次回会議まで

3、主催・共催団体等

「核のゴミから未来を守る県民の会」が呼びかけとなり、共催団体を募る。

- ・原子力資料情報室
- ・生協連合会（青森県？）
- ・原水禁
- ・原水協
- ・その他
- ・原子力資料情報室からは積極的に参加するとの返事をいただいている。再度近日中正式に要請する。
- ・各団体にも近日中に要請

4、集会規模

- ① 会場の収容人数は 989 人（1階席739人、2階席250人）最低でも500人の参加を目標に取り組む。
ここ数年、反核燃の集会で500人を超えることはない。
大きなヤマ場、節目となる年なので全力を尽くして取り組む。
- ・目標を800人で、全国にむけてとりくむ。

5、集会当日の時間（流れ）について

10:00	受付開始
10:30	第一部
12:00	お昼休憩
13:30	第二部
15:30	まとめ
16:00	閉会

・休憩時間を1時間で13時～第二部開催。デモなど具体的な内容は次回まで検討。

6、集会にむけて検討事項

◆1月27日 企画委員会の設置

①企画委員会の役割

- ・11・30 「核のゴミいらない！全国フォーラム」(仮称)の企画・運営・設営全般
- ・40年史の編集発行

②「核のゴミいらない！全国フォーラム」の具体的取り組み内容検討

- ・共催・協賛団体の要請行動
- ・イメージとしては
 - 第一部（40年間の闘いを振り返る）
 - 第二部（これからの闘いについて）で内容を検討する。
- ・講演会であれば誰にどんな内容での講演がいいのか。
- ・パネルディスカッションの場合は何人のパネラーにし、誰に依頼するか。
（核ゴミ？・原子力災害？青森県の原子力施設に関わる運動の歴史・経過？・その他……）
- ・その他 会場フローを利用して、これまでの核燃料サイクル等に関する展示。
（これまでの各団体等で利用・作成した物でも展示するという事は可能では？）

【内容について主な意見・要望】

- ・40年間の闘いを振り返るということで、これまでの運動と歴史の写真・資料で30分位の「スライド」を作り、当日上映する。
- ・「青森県を最終処分地しない」と最初に確約書に調印した、当時の科技庁長官田中真紀子氏に、当時の確約書に至った経緯や現在の考え等について話をしてもらう。
※ 田中真紀子氏に要請をする。
- ・人を多く集めるために、どんな人がいいのか再度検討が必要。
- ・田中真紀子氏を招くことで、保守層などにも、幅広く参加者を募ることができる。
- ・講演会より、ディスカッションのように参加型が良いと思う。
- ・これからの闘いに向けてとすることで、石川県珠洲原発を止めた運動のことを聞く。

- ・長崎県対馬市で最終処分地文献調査の受け入れ拒否した運動について。
- ・海渡雄一弁護士も、原発・核ゴミ・地域運動など全国の運動に関わっているので、協力してくれると思う。
- ・集会の意義・何のためにやるかが基本になる。そのことを大切に検討していく。
- ・今年秋ごろには
「北海道の最終処分地文献調査から次へのステップへ」
「中間貯蔵施設の安全協定締結、搬入」「再処理工場の竣工？再延期」
「青森県の活断層問題・防災避難計画の見直し」等々重大な節目となる。
40年経っても何も変わっていない。こういうことを繰り返さないための集会にする。

※ たくさんの意見等が出ました。

- ・これらを受けて2月16日に、共同代表事務局会議で話し合う。
- ・3月2日(土)午後1時30分 青森市 アウガ「研究室」で第2回企画委員会を開催。
具体的な内容を決定する。

③ 大まかないスケジュール

◆第2回目企画委員会 3月2日

- ・集会の内容の概略決定
- ・具体的な集会までの作業の確認と担当者
- ・集会呼びかけチラシ作成
- ・3.11あおもりネットワークの集会で配布できるようにチラシ等を完成
- ・4月末に県民の会総会 集会の成功にむけて、参加の要請・チラシ発送など
- ・6月 第3回企画委員会 ・取り組み状況を確認
- ・9月 第4回企画委員会 ・取り組み状況の確認
・当日の必要となる資料の確認と作成準備
- ・10月 第5回企画委員会 ・取り組み状況の確認
・出席者、当日の担当者の役割分担等の再確認
- ・11月20日頃 第6回企画委員会(最終)
・各団体の参加状況の最終確認
・当日の流れの確認
- ・11月30日 9:00 集合
・企画委員全員・スタッフ(当日の手伝い)含め・打合せ

7、その他・検討や必要な事項

- ・上記のように大規模な集会です。皆さんの結集が必要です。
- ・当日の手伝いを含め、多くの方々の協力がなければ成功しません。

- ・先のことでありますが、今から、11月30日は各団体・皆さんが、必ず参加する体制を取ってください。

- ・ユーチューブ配信をするか？

8、財政について

大規模な集会ですので経費も掛かります。会費だけでは賄うことができない状況です。

カンパの要請や当日(資料代500円)に徴収する。

- ・集会プログラムに広告を載せ、資金に当てることも検討

9、その他

- ・「さようなら原発 核燃3・11青森集会」に配布できるように、「11・30核のゴミいらない！全国フォーラム」の予告(呼びかけ)簡易チラシを作成。3・10に配布(2月25日までに完成)。

※ 会議は13時30分～16時まで行いました。

11・30日の集会成功にむけて取り組むことを確認し合いました。